

## パブリックコメント手続の実施結果について

### 1 案件名

平塚市国土強靱化地域計画（素案）

### 2 案件の概要

大規模自然災害が起きても機能不全に陥らず、市民の生命・財産を守れるよう、本市における国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となる計画として、平塚市国土強靱化地域計画を策定しました。

### 3 募集概要

#### (1) 意見の募集期間

令和3年11月5日（金）～令和3年12月6日（月）

#### (2) 意見の提出方法

持参、郵送、FAX、電子メール、電子申請システム

### 4 実施結果

#### (1) 提出意見数

個人から	2人	15件
団体から	0団体	0件
合計		15件

#### (2) 意見内訳

項目	件数 (件)
計画全体	1
第2章 本市の地域特性及び災害想定	1
第5章 強靱化の推進方針	10
その他	3
合計	15

#### (3) 意見への対応区分

項目	説明	件数 (件)
ア：反映	意見を受けて計画案等を修正したもの	0
イ：反映済み	既に計画案等に記載されているもの又は既に対応しているもの	2
ウ：参考	取組を推進する上で参考とするもの	12
エ：その他	意見募集の範囲と異なるもの、反映が困難なもの、質問など	1
	合計	15

## 5 意見対応表

番号	項目	市民意見の概要	市の考え方	対応区分
1	全体	<p>全体像が理解できるような計画案を要望する。そこで、分類を</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害防衛強靱化計画</li> <li>2. 災害発生時の初動強靱化計画</li> <li>3. 災害復興強靱化計画</li> </ol> <p>の3つの分類でまとめて、市民に解り易くしてほしい。</p>	<p>国土強靱化地域計画は様々な分野の個別計画に対して、強靱化の観点から指針となるものです。また、国の国土強靱化基本計画や神奈川県が定める国土強靱化地域計画と調和を図りつつ、策定しており、これらを踏まえて現行の素案の計画体系となっています。</p> <p>なお、「平時の対策」、「災害時の応急対策」「災害復旧・復興対策」のフェーズごとの詳細な対応は、地域防災計画でお示ししております。</p>	ウ：参考
2	<p>p.7 (素案 p.6) エ 土砂災害 (ア) がけ崩れ</p>	<p>万田地区のため池は適切に維持管理しないと、大雨の時、雨の急激な浸透を招き、斜面崩壊の危険がある。</p>	<p>本市が管理する万田八重窪ため池については、地震対策調査及び防災工事を実施しております。また、定期的な点検を実施し、草刈りなどを実施するとともに、台風など大雨が降ることが想定される前には、水門を開けて排水するなど、適切な維持管理に努めているところです。</p> <p>本計画においても、リスクシナリオ 7-3 施策アとして「既施設等の管理・整備」を位置づけており、本市が管理するため池について、適切な維持管理に努めてまいります。</p>	イ：反映済み
3	<p>p.19 (素案 p.17) 1-2 《施策ア》 建物の防火性の向上</p>	<p>街中の建物の延焼拡大を防ぐためには、植樹の設置が望まれる。</p>	<p>国土強靱化地域計画は様々な分野の個別計画に対して、強靱化の観点から指針となる計画です。</p> <p>御提案いただいた内容は、各分野の個別計画を進める上で、参考にさせていただきます。</p> <p>なお、本市においては、住宅への生け垣設置を推奨しています。</p>	ウ：参考

4	<p>p.20 (素案 p.18) 起きてはならない最悪の事態 1-3 大規模津波等による死傷者の発生</p>	<p><b>大規模津波に対して</b> 平塚海岸は相模川と花水川に挟まれているので、津波は二つの河口に集中していくように思う。そのため、海岸全体の津波対策ではなく河口付近の強靱化に特化してほしい。</p>	<p>神奈川県による津波浸水想定は河川の遡上も考慮したものであり、これに基づく津波に対する施策や主な取組を位置付けています。 引き続き、管理者である国や県と連携し、ハード・ソフトの両面から津波対策に取り組んでまいります。</p>	ウ：参考
5	<p>p.20 (素案 p.18) 起きてはならない最悪の事態 1-3 大規模津波等による死傷者の発生</p>	<p>湘南では少し考えにくいですが、それでも平塚海岸の林は、暴れる海水には有益。林を壊してレジャー施設を作るのは止めて欲しい。</p>	<p>湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業の件と捉えて、お答えします。 この公園整備では、既存の樹木をできる限り活用するとともに、新たな植樹、地盤高さの嵩上げ、などにより、防災面や自然環境へ配慮しながら進めてまいります。</p>	ウ：参考
6	<p>p.22 (素案 p.20) 1-4《施策イ》 河川の整備</p>	<p>施策の推進方針に、河川のパトロールの実施とあるが、これは住民の助力が重要と考える。</p>	<p>御意見のとおり、地域の事情をよく知る市民の皆さまから情報を得ながら、河川整備に取り組んでいくことは重要と考えています。</p>	ウ：参考
7	<p>p.22 (素案 p.20) 1-4《施策イ》 河川の整備</p>	<p>川の土手の草木の撤去は、土地を荒廃させる。ササ、竹、柳で土手を固めることを考えてはどうか。</p>	<p>国土強靱化地域計画は様々な分野の個別計画に対して、強靱化の観点から指針となる計画です。 御提案いただいた内容は、今後、河川の整備を進めていく上で、参考にさせていただきます。</p>	ウ：参考
8	<p>p.25 (素案 p.23) 2-1《施策イ》 生活必需品の備蓄・調達</p>	<p><b>災害用備蓄と支援物資の分配基準について</b> 平塚市が被災された時に、他の地域から支援物資が届くと考えられるが、迅速に被災者に分配できるように基準を明確にしておいてほしい。 例えば、被災者が 3000 人で、支援物資が 2000 人分だとした場合、3000 人分までそろうまで待つのか、2000 人分を配るのかどうかなど。</p>	<p>国土強靱化地域計画は様々な分野の個別計画に対して、強靱化の観点から指針となる計画です。 御提案いただいた内容は、今後、地域防災計画や災害時業務マニュアル等の改訂・検討の際に、参考にさせていただきます。</p>	ウ：参考

9	<p>p.30 (素案 p.28) 2-5《施策ウ》 避難者の健康管理等</p>	<p>「施策：避難者の健康管理等」について、普段からの健康管理が不可欠と考える。</p>	<p>御意見のとおり、普段からの健康管理は重要と考えています。</p> <p>国土強靱化地域計画は様々な分野の個別計画に対して、強靱化の観点から指針となる計画のため、普段の健康管理についての記載はありませんが、本市においては、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指し、「平塚市健康増進計画（第2期）」を策定し、健康づくりを進めております。</p>	ウ：参考
10	<p>p.32 (素案 p.30) 3-2《施策イ》 非常時業務体制の整備</p>	<p>「施策：非常時業務体制の整備」の主な取組に災害ボランティアの記載があるが、地元の高校・大学生の参加が大切である。</p>	<p>災害時のボランティアにおいて、高校生や大学生の参加は重要と考えています。</p> <p>本市においては、災害時におけるボランティア支援及び施設使用に関する協定を学校法人 神奈川大学や学校法人 東海大学、神奈川県立平塚看護大学校と締結しております。</p> <p>また、平塚市、平塚市社会福祉協議会及び平塚青年会議所の3者で災害時ボランティア活動に関する協定を締結し、各種関係機関等の協力を得ながら、災害ボランティアによる救援活動が効果的かつ効率的に実施できるよう災害時ボランティアネットワークセンターを設置・運営することとしています。</p>	ウ：参考
11	<p>p.36 (素案 p.34) 5-4《施策ア》 農業の生産基盤や生産体制の強化  5-4《施策イ》 漁港施設の整備</p>	<p>これからは、農業・漁業を雇用の場とするべき。よって、土地の公の保全が不可欠と考える。</p>	<p>御意見のとおり、国土強靱化の観点からも農業・漁業の振興は重要と考えています。</p> <p>本計画の中においても、「農業の生産基盤や生産体制の強化」、「漁港施設の整備」の施策を位置づけ、平時から農業の生産基盤の強化を図り、農業の生産体制の強化を図るとともに、漁業活動の継続や安全性向上のため、漁業関連施設の整備に取り組んでまいります。</p>	イ：反映済み

12	p.44 (素案 p.42) 8-1 《施策ア》 災害廃棄物の 処理体制の整 備	災害廃棄物について、再利用で きるものは再利用してはどうか。	国土強靱化地域計画は様々な分 野の個別計画に対して、強靱化の 観点から指針となる計画です。 災害廃棄物に対する具体的な対 応については、平塚市災害廃棄物 等処理計画に定めており、基本方 針の中で、災害廃棄物の再利用・ 再資源化を可能な限り推進し、最 終処分量の削減を図ることとして います。	ウ： 参考
13	その他	<b>被災者の受け入れについて</b> 平塚市は被災しなくても、お隣 の茅ヶ崎、藤沢が被災した時に、 被災者の受け入れの可能性もあり ます。その時のことも想定し、計 画に盛り込んでほしい。	県下の各市町村は災害時相互応 援協定により協力体制を構築して います。 また、湘南地区7市4町の間で は、定期的に会合を行い災害時の 相互応援・協力などについて協議 を行っています。	ウ： 参考
14	その他	社会保障と同様に公共投資に多 額のお金を投下するわけにはいか ない。例えば、川の土手及び海の 砂浜のブロックの為には、ネット を2重3重に張って、土・砂を防 いだらどうか。また、土のう袋を 多数ネットでつつんで、ワンセッ トにして使用したらどうか。	御意見の趣旨を踏まえ、各公共 事業の実施にあたっては、引き続 き、費用対効果の高い整備手法に、 努めるとともに、国や県とも連携 して取り組んでまいります。	ウ： 参考
15	その他	建設土木の仕事は限られる。今 後、ますます勉強しないものは生 きていけない。そこで、図書館で 建設土木の書籍を置いたらどう か。	本市の図書館においても、建設・ 土木に関する基本書を中心に所蔵 しております。専門的な資料につ いても、要望によっては、購入を 検討したり、県立図書館や大学図 書館、国立国会図書館等から取寄 せたりすることが可能です。	エ： その 他

<お問い合わせ先>

- ・平塚市 企画政策部 企画政策課  
電 話：0463-21-8760  
電子メール：kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp
- ・平塚市 市長室 災害対策課  
電 話：0463-21-9734  
電子メール：saigai@city.hiratsuka.kanagawa.jp